

# マネジメントDX研究会



リーダー  
武政 大貴



サブリーダー  
小谷 俊徳



サブリーダー  
江藤 ジョナタン

## 開催要項

※日程・開催時間等は変更になる場合がございます。予めご了承ください。

第1回	2023年	9/25(月)・26(火)
第2回	2023年	11/13(月)・14(火)
第3回	2024年	1/25(木)・26(金)
第4回	2024年	3/7(木)・8(金)
第5回	2024年	5/20(月)・21(火)
第6回	2024年	7/22(月)・23(火)

◎1日目/午後開始・2日目/午前終了

## 参加概要

※金額は全て税込表記です。

受講対象	経営者、経営幹部、事業責任者及び情報システム担当者など
定員	30名様
会費	お1人様(全6回通し) 495,000円 お申込みされた方以外の受講もOK! 例えば1・2回目参加者は社長様、3回目参加者は他の経営幹部様など変更可能です。
	1名様追加料金(同一企業様) 1回 66,000円 全6回通し 429,000円 ※FCCF受講費を含みます。

**ファーストコールカンパニーフォーラム2024**  
100年先も一番に選ばれる会社の条件と、そのビジネスモデルを研究し、研究結果の集大成として毎年開催。

**研究会参加者にはFCCFの視聴アカウントを進呈**  
ファーストコールカンパニーフォーラム(FCCF)の詳細は、弊社ホームページをご参照ください。※開催方法は変更になる場合がございます。

※教材費、懇親会費を含みます。交通費・宿泊費は各自手配・ご負担いただきます。  
※お申込み期限日(第1回開催の1週間前、同一企業様からの追加お申込みの場合は各回開催の1週間前)までの取消につきましては全額返金いたします。  
※お申込み期限日の翌日からの取消につきましては代理受講をお願いいたします。代理受講が不可能な場合は以下の通り取消料を申し受けます。ご了承ください。  
①お申込み期限日の翌日から第1回開催日の前日:会費の40%(同一企業様からの追加お申込みの場合、各回開催日の前日)②第1回開催日以降:会費の全額(同一企業様からの追加お申込みの場合、各回開催日当日)  
※諸般の事情により、お申込みをお受けできない場合がございます。予めご了承ください。 ※お申込み受付後、ご請求書をお送りいたします。会費の前納をもってお申込みとさせていただきます。 ※状況により懇親会が実施できない場合がございます。予めご了承ください。

## お申込み

Web | タナベ マネジメントDX研究会

検索

ホームページで本研究会の詳細・規約をご確認いただけます!

携帯・スマホはこちらから

E-mail | [soken-lab@tanabeconsulting.co.jp](mailto:soken-lab@tanabeconsulting.co.jp)

FAX | 03-6758-0074



## FAX申込書

※[FAX番号の入力誤り][0(ゼロ)発信機の0入力漏れ]にお気をつけください。

FAXの場合は下記申込書に必要事項をご記入の上、上記番号まで送信してください。

希望	該当するものにチェック☑をご記入ください	<input type="checkbox"/> お申込み	<input type="checkbox"/> お問い合わせ	お申込み日	年	月	日	
会社名								
ご住所	〒	お申込者・連絡窓口						
	TEL	お役職						
	FAX	ご氏名						
ご参加者	お役職	<input type="checkbox"/> お申込者のご請求先が異なる						
	ご氏名	※お申込者・連絡窓口とご請求先が異なる場合はチェック☑をご記入の上、下記にご請求先をご記入ください。						
	E-mail	〒						
ご参加者	お役職	ご請求先						
	ご氏名	お役職						
	E-mail	ご氏名						
	<input type="checkbox"/> 全回参加 ※全回参加の場合のみFCCFの受講も含まれます。		TEL					
	<input type="checkbox"/> 第1回 <input type="checkbox"/> 第2回 <input type="checkbox"/> 第3回 <input type="checkbox"/> 第4回 <input type="checkbox"/> 第5回 <input type="checkbox"/> 第6回		FAX					
※ご希望回のみ参加されるには、必ず他に全回参加の方1名以上のお申込みが必要です。		E-mail						

研究会規約に同意します  弊社ホームページの研究会参加要項に掲載されている研究会規約をお読みの上、☑をお入れください。  
研究会規約▶ <https://www.tanabeconsulting.co.jp/t/lab/terms.html>



# マネジメントDX研究会

テーマ

従来の見える化手法とDXを横断し  
マネジメントをアップデートする



本研究会のポイント

01

DXを活用し企業成長のためのビジョンと戦略が明確になる

02

デジタルツールを活用し定型業務・非付加価値業務の効率化が図れる

03

付加価値へ転換可能な情報資産の蓄積と活用の着眼が学べる



# Digital or Die

デジタルは手段であり前提である。積極的にデジタル化していかないと自社の成長がない。一方で安易なシステム、ツールありきのデジタル化では成果が出ない。

企業の成長、目的を押さえた能動的な真のデジタル化を推進するためには、デジタル(DX:デジタルトランスフォーメーション)とアナログ(AX:アナログトランスフォーメーション)が有機的に連動した取り組みが必要です。

## マネジメントDX ~ 全社最適でIT化構想を描く ~

マネジメントDXとはデジタルツールを活用し、定型業務・非付加価値業務の効率化を図ると共に、付加価値へ転換可能な情報資産の蓄積と情報に基づくスピーディーな経営判断の実現を図ることを示します。

マネジメントDXの3要素として、「業務効率化=非付加価値業務削減」・「ダッシュボードマネジメント=スピーディーな経営判断」・「情報資産の蓄積=新たな付加価値の創出」が挙げられます。当研究会でそれらのヒントを学んでいきます。

# MANAGEMENT DX

DX

デジタル化

AX

見える化

AUTONOMOUS COMPANY

自律型企業の実現

SOCIAL VALUE

社会価値の実現

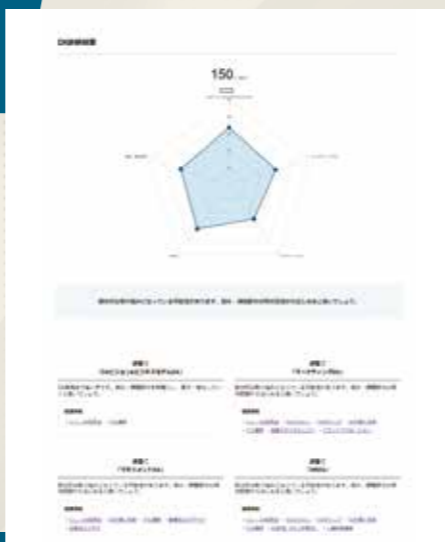
お悩み 01 DX化を実施しているが、うまく回らない…

お悩み 02 DXを進めてはいるが、客観的に見て現状のままで良いのを知りたい

## まずは DX診断 で自社の現状を把握しましょう!

全50問ほどの簡易テストにより、ビジネスモデル、マーケティング、マネジメント、HR、組織体制の5つの切り口で自社のDXレベルを客観的に数値化。どの領域に力を入れるべきかを算出します。診断により自社の「現在地」を可視化し、力を入れるべき課題をどう解決するかを当研究会で学びましょう。

診断はこちらから



今期のゲスト企業(予定)



ヤマハ発動機 株式会社

IT本部デジタル戦略部 部長 新庄正己氏



## Try & Learnで進めるヤマハ発動機DX戦略と人材育成

- 01 ヤマハ発動機は180を超える国や地域に幅広い事業を展開しています。デジタルが当たり前になる時代にも、ヤマハらしい感動体験を世界中のお客様に届けられるように 経営基盤改革・今を強くする・未来を創る、の3つの変革を推進しています。
- 02 ヤマハ発動機のDXは、特定の部門だけでなく社員誰もが当たり前データを使いこなせることを目指しています。そのための活動内容やデータ活用事例について紹介します。
- 03 DXを推進するCoE部門と一般部門の関係や役割について、これまでの気づきと学びを紹介します。



その他ゲストも続々ご紹介中!

詳細はWEBをご覧ください

タナベ マネジメントDX研究会

検索

## こんな方はぜひご参加ください

- DXやデジタル化の推進による企業成長を考えている経営者・役員
- デジタルを活用して、従来の見える化手法を強化したいと考えている現場責任者
- DX推進のために具体的にどのように実行するのか検討している部門責任者 および情報システム部門責任者



## デジタル・DXの戦略・実装情報サイト

タナベコンサルティンググループやそのパートナー企業が、それぞれの専門領域ごとに最適なソリューションをご提案する、DXの専門サイト。豊富な経験から導き出したメソッドや、実施した成功事例、課題解決のためのフレームワークやデータ活用ツールなどもご紹介しています。

ダウンロード資料(一部抜粋)



詳細はWEBをご覧ください

デジタル・DXの戦略・実装情報

検索



PROFILE

マネジメントDX研究会リーダー  
HIROTAKA TAKEMASA

武政 大貴

財務省で金融機関の監督業務や法人企業統計の集計業務などを担当後、企業経営に参画したのち当社に入社。実行力ある企業(自律型組織)構築を研究テーマとして、見える化手法を活用した生産性カイカクを中心にコンサルティングを実施。生産性の改善を前提に、DXビジョン、IT構想化、ERP導入支援及びSDGs実装支援など世の中の潮流にあわせてコンサルティングメソッドを研究開発しながら実行力ある企業づくりに関して高い評価を得ている。

